

令和元年度 下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

○ICT を活用した総合的な段階型管路診断システムの確立にかかる実証事業(クリアウォーター-OSAKA・日本下水道事業団・大阪市共同研究体)

平成 30 年度に引き続き、劣化予測を活用した机上スクリーニング、効率的な現地スクリーニング、腐食環境調査及び不明水調査等の総合的な段階型管路診断システムの確立にかかる実証研究が行われ、一定の成果が得られて、ガイドライン化が図られた。

今後は、技術の速やかな普及展開を図るとともに、劣化予測システムの一層の精度向上や効果的な腐食環境調査等の知見の蓄積を期待する。